



彫刻作品を 守る人びと

齋藤素巖彫刻の小径の作品は、ボランティアの洗浄作業などにより、設置から15年ほど経った今もきれいに保たれています。ボランティアとして彫刻作品を大切に守る人たちに迫ります。

彫刻の小径を守る ボランティア

齋藤素巖彫刻の小径ができる前の平成17年ごろには、設置された後の作品を保全するボランティア部会がすでに立ち上がり、みんなで集まって、武蔵野美術大学などで勉強会をしていました。

平成18年4月に彫刻の小径のオープニングセレモニーが開かれ、その後から、ブロンズ像のメンテナンス作業が始まりました。現在も、春と秋の年に2回、定期的にメンテナンス作業が続けられています。

武蔵野美術大学の先生による調査で、彫刻の小径に設置され

ている作品はもとも室内用の作品として作られたものだったため、手入れをしないとあっという間に状態が悪くなってしまうものであることが判明しました。そのため、設置後すぐにボランティアによる手入れを始めました。継続的なメンテナンスのおかげで、設置から約15年たった今でも、彫刻の小径のブロンズ像は非常に良い状態が保たれています。

ボランティアに参加している人は、定年退職して、地域で何か自分にできることはないかと考え参加した人や、彫刻はメンテナンスがとても大切なので、メンテナンスに携わりたい、地域に恩返しをしたい、と考えて参加した人など、それぞれの思いを持って積極的に活動しています。

彫刻の小径で作業をしていると、狭山・境緑道を通る人に「きれいにしてくれてありがとう」などと声をかけてもらうことがよくあるそうです。嬉しいのと同時に、声をかけてくれた人と緑道沿いの植物の話題で盛り上がるなど、会話が生まれて、作業がより楽しくなるといいます。

ボランティアとして作業に携わることで、色々な人との出会いが生まれる機会にもなっています。

作品の台座に思いを込めて

素巖の作品の台座は、寄附を募って設置されました。それぞれの台座には、寄附者の名前とコメントが入っていて、寄付した方の思いが込められています。

台座を寄附した方の声

家族に2人いのしし年の人がいたので、いのししを選びました。ボランティアのほかにNPOの活動をしていて、プレートの言葉は、その中の一つの活動のテーマソングの歌詞です。NPOの活動と、この曲を作った、私の好きなジャズシンガーの方のことを忘れないようにと、プレートに刻みました。



池田春寿さん

草も樹も、鳥も虫も、私達の仲間

ブロンズ像のメンテナンス作業

ボランティアによって、春と秋にメンテナンス作業がなされ、作品がきれいな状態に保たれています。



まずは、ブラシで砂やゴミを取り除きます。



専用の洗剤を使って、ブラシで細かいところまでこすって汚れを落とします。



水で洗剤を流し、乾いた布で丁寧に拭きあげます。



齋藤素巖彫刻の小径で 作品や地形を楽しもう

齋藤素巖彫刻の小径は、単に作品を見るだけでなく、緑道の草木や花など、緑道のいろいろなところに視点を移して楽しむところが魅力です。

作品も、想像上の生き物(かっぱ)があったり、自像と思われる人物像が多く見られたり、さまざまな雰囲気のある作品を楽しむことができます。学芸員による作品の解説とまち巡りガイドによる緑道沿いの地形や用水などの解説を聞きながら、齋藤素巖彫刻の小径を歩きましょう。

とき 3月12日(木)
集合 午前9時30分、西武線小平駅
 ※解散は正午ごろ、西武線花小金井駅。
費用 500円
定員 20人
申込み 2月5日(水)から、電話または電子メールで住所、氏名、電話番号をこだい観光まちづくり協会へ(先着順)
 ☎042(312)3954、✉info@kodaira-tourism.com

齋藤素巖 彫刻の小径 マップ

小平駅から花小金井駅までの狭山・境緑道沿いにある16基17作品を探してみましょう。

